

報道関係者各位

Nasu 661 WINE HILLS「ワイン＝ブドウ」を超えて 那須御用邸の麓、ブルーベリーと里山の丘

果実酒・里山散策・食を一つの丘で。創業100周年の長期熟成3銘柄も発表

農業生産法人ロイヤルベリーズファーム有限公司(本社:栃木県那須郡那須町、代表取締役:室井秀貴)が運営する「Nasu 661 WINE HILLS」は、創業100周年を迎えた2026年秋、ブルーベリーをはじめとする果実酒と、那須御用邸の麓に広がる里山を軸にした「ワイナリーを超えた新しいスタイル」を打ち出します。ブドウに限らず多彩な果実を自社で育てて醸し、果樹園・醸造所・里山散策・食を一つの丘で味わえる場として発信します。あわせて長期木樽熟成の3銘柄を展開し、11月8日(日)には感謝祭と共に、報道関係者向けの取材会を開催します。



「那須御用邸の麓、果樹園と里山が地続きに広がる約91ヘクタールの丘」

■「ワイン＝ブドウ、ワイナリー＝ブドウ畑」ではない

一般に「ワイナリー」といえば、ブドウ畑でブドウからワインをつくる場所を思い浮かべます。Nasu 661 WINE HILLSは、ブルーベリーを中心に、ブドウ、ジュンベリー、ブラックベリー、マルベリー(桑の実)、梅など多彩な果実を自社農園で育て、敷地内の醸造所でフルーツワインに仕込んでいます。同社は、果実の種類にも、お酒をつくるだけという枠にとらわれないこのあり方を、国内でもまだ珍しい、ワイナリーを超えた新しいスタイルと位置づけています。

■ 出発点は、水害のあとに芽吹いたブルーベリー

1998年の那須水害で約1,200坪の農園が全滅した翌春、ブルーベリーの新芽が10本だけ芽吹きました。同社はこれ

を育て直し、那須産ブルーベリー100%のフルーツワイン「岩座(いわざ)」を生み出します。ブドウ以外の果実のなかで、ワインとして最も大きな可能性を持つのがブルーベリーだと同社は考えています。

搾ったあとに残る果皮や種——パミスも、同社では捨てません。パン生地に練り込み、ソースに仕立てて、園内のホットドッグに使っています。果汁はフルーツワインに、搾りかすはその日の食事に。

ブドウの栽培も続けていますが、標高約550メートルの那須高原に合うワイン用品種はまだ確立されていない、というのが同社の認識です。敷地内に自生する山ぶどうとメルローを交配した新品種の開発に取り組み、2027年3月には苗木3,000本の植え付けを予定しています。

■ 御用邸の麓、果樹園と里山が地続きに

敷地は那須御用邸のすぐ南に位置し、醸造用水には御用邸と同じ地下水源を用いています。震災後に太陽光発電設備の設置が相次ぐなか、同社は里山の景観を残すことを選び、2012年から耕作放棄地と別荘跡地を再生してきました。総敷地面積は約91ヘクタール。果樹園、醸造所、そしてその先の里山が一続きになっています。

同社によれば、海外から訪れる旅行者の間では、畑や周辺の自然を歩きながらワイナリーを楽しむスタイルが主流です。同社はこの楽しみ方を日本でも広めたいと考え、11月8日に敷地内の里山散策コースを正式に公開します。訪れた誰もが、歩くうちに気持ちが軽くなり、すがすがしさを感じられる。同社はそうした土地の「気」も含めて伝えたいとしています。

■ 創業100周年、長期木樽熟成の3銘柄

銘柄	内容量	価格
神座(しんざ)長期木樽熟成 100周年記念ボトル	730ml	22,000円
岩座(いわざ)長期木樽熟成	730ml	5,500円
梅座(うめざ)長期木樽熟成	730ml	4,400円

散策のあとは、テラスグリルで薪焼ソーセージグリル(1,650円)、ホットドッグ(500円)、自社のブルーベリーを使ったブルーベリースムージー(600円)などを楽しめます。



「創業100周年を記念した長期木樽熟成の3銘柄」

■ 本取り組みの社会的意義

◆ 栃木県にとって 県内の荒廃農地は1,970ヘクタール(令和5年度、関東農政局)。耕作放棄地を果樹園と里山として再生し、事業として成り立たせる参照例になります。

◆ 日本にとって 国内の荒廃農地は256,667ヘクタール(令和6年度末、農林水産省)。基幹的農業従事者は20年で半分以下の102.1万人に減りました(2025年、農林業センサス)。地域の果実を生かす果実酒づくりは、農地に新たな価値を生む選択肢のひとつです。

◆ 地球環境にとって 高温によるブドウの着色不良は、西日本の4～5割の地域で報告されています(農林水産省、令和6年調査)。一つの作物に頼らず複数の果実を育てることは、気候の変化に備える農業のかたちでもあります。

■ 代表取締役 室井秀貴 コメント

ワインといえばブドウ、ワイナリーといえばブドウ畑。私たちはその枠にとらわれず、水害のあとに残ったブルーベリーから歩みを始め、御用邸の麓の原野を里山として再生してきました。ここを歩くと気持ちが良くなる、すがすがしい気持ちになる。そういう「気」が、この土地には流れています。海外では、ワイナリーを歩いて楽しむのが当たり前です。その楽しみ方を、日本でも広めていきたいと思っています。

■ メディア向け取材会

日時:2026年11月8日(日)10:00-17:00

(10:00～12:00 里山コース案内／12:30～15:00 食事会)

会場:Nasu 661 WINE HILLS(栃木県那須郡那須町高久丙4515-13)

内容:果樹園・ブドウ畑の取材・撮影／里山散策コースの案内(樹木医同行)／代表への個別取材／テイスティング

対象:報道関係者(参加無料)

お申込み:松本(info@nasu661winehills.net)

■「Nasu 661 WINE HILLS」について

2022年7月に開業した那須町初のワイナリー。ブドウに加え、ブルーベリーをはじめとする多彩な果実を自社農園で

育て、醸造・飲食・里山散策までを一つの敷地で営んでいます。総敷地面積は約91ヘクタールで、その大部分は2012年以降に借り受けて再生した耕作放棄地と別荘跡地です。

所在地：栃木県那須郡那須町高久丙4515-13

営業時間：10:00～17:00（年中無休）／テラスグリル 11:00～15:00（L.O.14:30）

アクセス：東北自動車道 那須ICより車で約10分／JR那須塩原駅より車で約30分

Web：<https://www.nasu661winehills.net/> オンラインショップ：<https://661winehills.base.shop/>

■会社概要

社名：農業生産法人 ロイヤルベリーズファーム有限公司

代表取締役：室井 秀貴

創業：1926年（昭和元年）／設立：2003年8月

事業内容：ブルーベリー・ワイン用ブドウ等の栽培、果実酒、甘味果実酒、リキュールの製造販売、飲食業、小売業

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

農業生産法人 ロイヤルベリーズファーム有限公司／Nasu 661 WINE HILLS 広報担当 松本

TEL:0287-73-0661/ 090-1464-4661（代表取締役：室井秀貴） MAIL:info@nasu661winehills.net